

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年7月26日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市月輪一丁目8番1号
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社島津製作所 代表取締役社長 山本
靖則
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社島津製作所 代表取締役 山本靖則
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都市中京区西ノ京桑原1番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社島津製作所 瀬田事業所					
事業所の所在地	滋賀県大津市月輪一丁目8番1号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	2	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 油圧機器・空圧機器製造業
事業の概要	油圧機器・油圧応用装置及び真空熱処理炉・ガラス繊維巻取機等の製造					
従業員の数	614	人	作業時間	20	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	0	台
	コンプレッサ	14	台	空気調和設備	96	台
				照明設備	4249	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

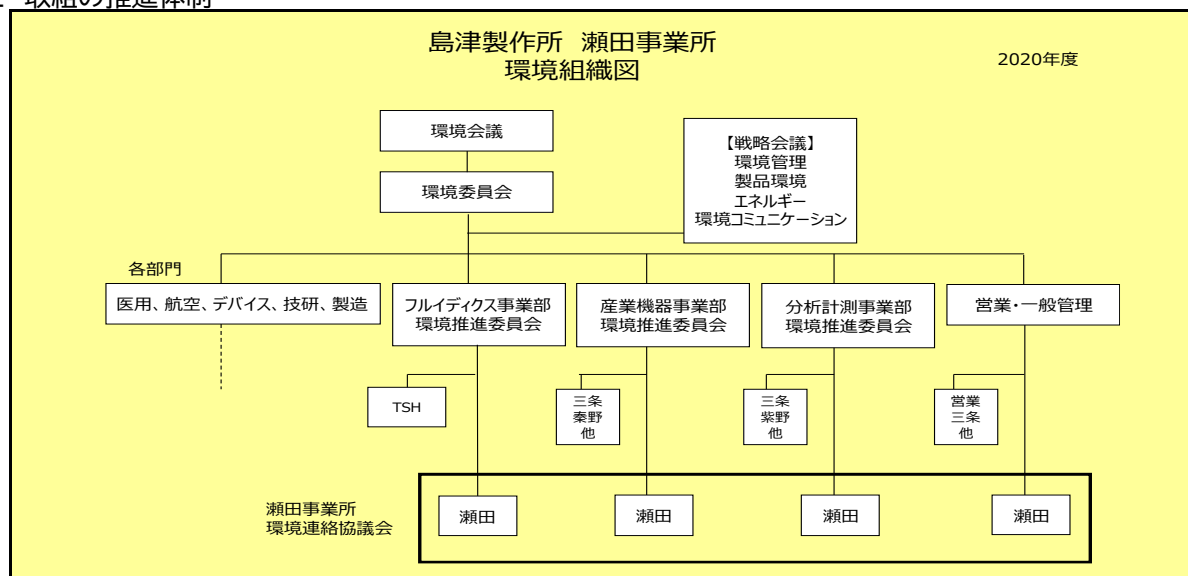
計画期間	開始 年度	令和5	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了 年度	令和7	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

- ①すべての製品について、ライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減を推進する。
②気候変動への適合を図るとともに、気候変動緩和のためエネルギーの有効利用や再生可能エネルギーの積極的な利用を推進し島津グループ中期CO2排出量削減目標達成を目指す。
③持続的な資源の利用促進、有害化学物質や水の適正な管理を図ると共に、サプライチェーンも含めた脱炭素・循環型社会の形成などの環境保全に努める。
④環境保全活動を推進させるため、従業員及び敷地内で働く全ての人が積極的に保全活動に取り組めるよう組織を整備し、環境教育及び啓発活動を行う。



- 受電設備の設備稼働状況に合わせ進相コンデンサー自動制御による力率改善。
- 電気室・コンプレッサー室の換気を季節に応じてOFF。
- 事務所の照明を間引き点灯と、プルスイッチを取り付け、離席時の消灯を徹底。
- 事業所内照明の昼休みと始業時間外の消灯を徹底。照明の間引き点灯を実施。
- 照明の省エネ施策として、水銀灯の更新。
- 各室の室温を監視し、空調機の温度設定を行い、運転記録を実施。
- コンプレッサーの点検及び清掃を実施し記録。
- 待機運転による電力の損失を低減する為、待機電源OFF実施。(生産設備・OA機器)
- コンプレッサーの点検及び清掃を実施し記録。
- 冷却塔(クーリングタワー)の管理標準を作成し、運転状況を記録。
- 空調機のエアーフィルターを1ヶ月に1回点検及び清掃し、記録。
- 省エネルギーセンターによる省エネ診断の実施。
- エアー漏れ改善開始。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	スマートメータ設置による設備毎のエネルギーの見える化	令和2年～	設置と見える化実施
2	運用改善	エアー漏れ診断による対策実施	令和2年～	診断と対策実施
3	運用改善	エネルギー管理標準の見直しによる計測記録と省エネ施策抽出による対策実施	令和2年～	改定と計測記録実施 省エネ施策抽出
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		—	—	—
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
島津グループは事業活動における中長期のCO₂排出量削減目標として、2030年度に30%削減(2017年度比)としています。 この計画に沿ってこの3年間は下記目標で進めます。 CO₂排出量/売上高＝原単位で年平均1%削減	省エネ及び再生可能エネルギー由来の電力に切り替えて大幅達成

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(令和5)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,480	3,094				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	7,413	5,476				
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	7,413	5,476				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0				
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		3.744	3.142				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	追加:令和3年3月、弊社ではRE100を宣言し瀬田事業所も2021年度中に再生可能エネルギー由来の電力に切り替え	令和3年～	令和3年7月切替実施
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	—
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0	kW	水力・小水力	0	kW	地熱	0	kW
太陽熱	0	kW	バイオマス	0	kW	その他 ()	0	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	屋根貸による太陽光発電設備有り							

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R5)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0				
上記のうち自家消費量	kWh						